

2024年10月15日

電源開発株式会社
ENEOS株式会社
JX石油開発株式会社

令和6年度「先進的CCS事業の実施に係る設計作業等」の受託について ～西日本における大規模CCSバリューチェーンの検討～

電源開発株式会社（代表取締役社長 社長執行役員：菅野 等、以下「Jパワー」）、ENEOS株式会社（代表取締役社長 社長執行役員：山口 敦治、以下「ENEOS」）およびJX石油開発株式会社（代表取締役社長 社長執行役員：中原 俊也、以下「JX」）は、西日本カーボン貯留調査株式会社（代表取締役社長：古舘 恒介）＜注1＞と共同で、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（理事長：高原 一郎、以下「JOGMEC」）より「先進的CCS＜注2＞事業の実施に係る設計作業等」＜注3＞（以下「本業務」）を受託しましたので、お知らせいたします。

本業務は、2030年度までにCO₂貯留開始を目指す先進的CCS事業に係る作業として、CO₂の分離回収・輸送・貯留に係る詳細設計および貯留予定地の試掘調査等を行うものです。

4社は、瀬戸内・九州地域におけるENEOSの製油所、Jパワーの火力発電所から排出されるCO₂を分離回収・輸送し、九州西部沖の海域帯水層へ貯留するCCS事業の実現に向けて検討を進めております。2023年度に実施した事業性調査＜注4＞に引き続き、本年度より、分離回収・輸送・貯留に関する設備の詳細検討によるプロジェクトの精度向上及びコスト削減の検討、試掘調査に向けた事前調査や長納期資機材の調達、貯留層評価等を行ってまいります。

4社は、本業務を通して西日本における大規模CCSバリューチェーン＜注5＞を2030年に実装開始することで、エネルギーの安定供給を果たしつつ、わが国の温室効果ガス排出削減目標の達成への貢献を目指します。

＜注1＞ CO₂貯留候補地選定のための探査・評価などの事業化に向けた準備を推進するため、2023年2月に3社（ENEOS、Jパワー、JX）で設立した合併会社

＜注2＞ Carbon dioxide Capture and Storage (CO₂の回収・貯留) の略

＜注3＞ 2024年6月28日 JOGMEC プレスリリース「CCS事業化に向けた先進的取り組み ～2030年度までのCO₂貯留開始に向け、設計作業等について9案件を候補として選定～」
(https://www.jogmec.go.jp/news/release/news_10_00191.html)

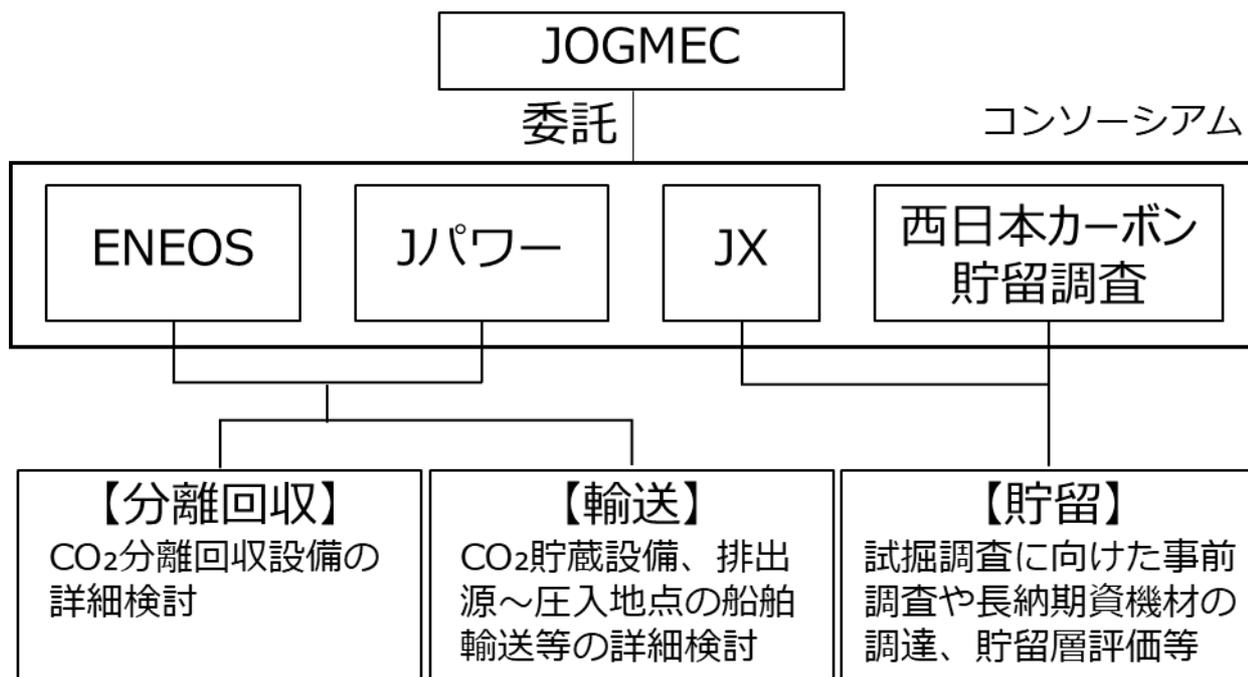
＜注4＞ 2023年8月25日公表「令和5年度「先進的CCS事業の実施に係る調査」の受託について」
(https://www.jpowers.co.jp/news_release/pdf/news230825.pdf)

＜注5＞ CO₂の分離・回収、輸送、圧入・貯留からなるバリューチェーン

＜本調査におけるCCS事業計画概要＞

排出源	瀬戸内・九州地域のENEOS製油所、Jパワー火力発電所
輸送方式	船舶及びパイプライン
貯留候補地	九州西部沖（海域帯水層）
貯留量	約170万トン/年

<本業務の取り組み体制>



以 上